KOZAKAI WORKSHOP NEWS

Vol.1
発行
2017年12月

日時　：2017年11月29日(水)
　　18:30-20:30
場所　：小坂井生涯学習会館
参加者：32名

これからの“小坂井”を自分たちの手で。ワクワクする話し合いがつくる未来。

平成32 年度中に完成予定の小坂井地域交流会館(仮称)について、市民の皆さんとともに考えるワークショップ(話し合い)を開催しました。第１回は、５つのテーマに分かれて話し合いを進めました。

※本事業は平成29年度元気な愛知の市町村づくり補助金を活用しています。

〈本取組みについて〉

〈小坂井地区の公共施設再編に関する取組み〉

・本取組みに関することはホームページ、ニュース等を通じて公開しており、これまでの取組み内容についても掲載していますので、是非ご覧ください。

・ご意見、ご要望については、メール、窓口等の他に、小坂井支所及び小坂井生涯学習会館に意見箱を設置し、随時受付けしています。

・設計案（受託者選定プロポーザル時）の模型と技術提案書を小坂井生涯学習会館に展示しています。

展示中の模型

〈問い合わせ先〉

豊川市総務部財産管理課
電話:0533-89-2108　FAX:0533-89-2163　E-mail:zaisan@city.toyokawa.lg.jp
http://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/gyoseiunei/manejiment/kanzaikeiyakuka2015.html

プログラムを
PICK UP!

設計案の紹介

今回の設計案について、全体がわかる図面と内部のイメージをご紹介します。当日はスライドと会場中央に置いた模型、配布資料を使って説明しました。

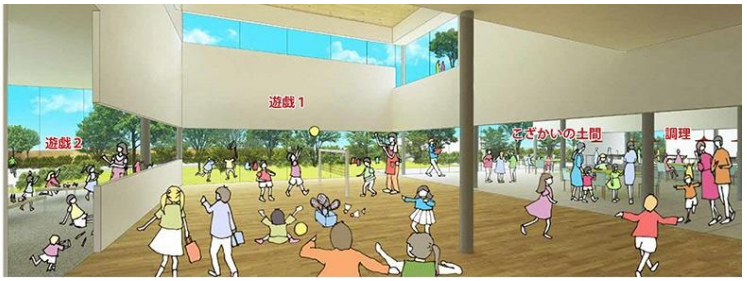
設計を担当する、㈱シーラカンスアンドアソシエイツより、スライドと模型を用いて案を説明。

全体のイメージ

こざかいの土間 (1階) とえんがわラウンジ (2階)

テラスとえんがわラウンジに面する生涯学習施設

施設全体の窓口となる支所



子どもたちの多様な活動を受け入れる児童館

プログラムを
PICK UP!

ワーク（意見交換）

設計案について各テーブルでさらにミニレクチャーを重ねた後、それぞれのテーマについて様々な切り口から意見交換をしました。

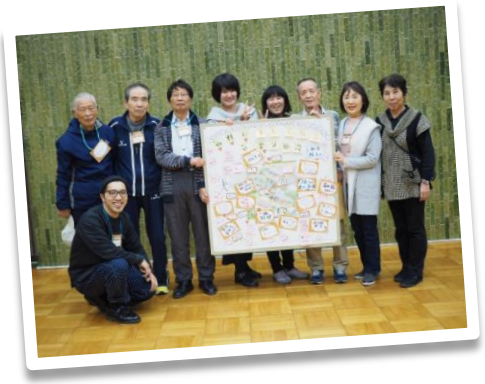
3年後に向けた話し合いを、今から始めます。

設計案の特徴を踏まえ、生涯学習施設・図書館・調理室・児童館・イベントという５つのテーマに分かれて話し合いをしました。行政に対する要望だけでなく、新施設における将来の使い手として、自分たちが使いやすい空間をソフト面とハード面の両方から考えることができました。

生涯学習施設

「気軽に来たくなる、気楽な施設」を目指して。

気軽に来ることができ、使いやすい施設がよいという意見が多く挙がりました。例えば和室には掘りごたつ、楽屋や更衣室として使える部屋、集会室に小さなステージ、何でも貼ることのできる壁があると嬉しいといった声です。一方で今の施設と同じ使い勝手を求める声もありました。子育て世代からお年寄りまで使うことができ、人気でいつも人でいっぱいになるのが理想です。



図書館

静かに楽しむだけでなく、声を出しても楽しめる。

図書館なので静けさは大切ですが、読み聞かせの活動のために和室に集まれたり、ラウンジで雑談ができたりと、声を出せるスペースも一部あるとよさそうです。会議室の前に本棚を置くなど、２階全体を図書館として使えるとよいといった意見も多く出ました。また、旧資料館の資料や貝塚の断面剥ぎ取りなど、歴史が感じられる、小坂井らしい場所になってもらいたいとの意見もありました。

調理室

誰でも使え、楽しさが生まれる、みんなの調理室。

児童館と連携した親子向け料理教室や、お月見会や芋煮会といった季節のイベントなど、３世代が参加することのできる場所にしたいという意見が多く出ました。なかには、還暦の方が集まる年1回の還暦会を開催、というアイデアも。一方、誰もが使える場だからこそ、セキュリティ面や使い方のルールも必要だという意見も出ました。みどりの庭でお弁当を食べたいという声もありました。

児童館

赤ちゃんからお年寄りまで、1人にしない場所に。

「遊ぶ」「食べる」ことを中心に、子育て世代にとって活動しやすい場を求める意見がたくさん出ました。自由に落書きできる大きな壁や、親子で寝転んだり遊びやすい素材の床があるとよい。汚れや泥を落とすスペースやボール遊びができる場がほしいといった意見です。またおむつ替えできる親子トイレ、子どもとお年寄りの方が一緒に食事を楽しむ機会がほしいという意見もありました。

イベント

みんなよっといでん、葵まつり。

葵まつりの際に新施設をどう使うとよりお祭りが魅力的になるかを話し合いました。道に面した広場（葵の広場）では飲食のお店の出店場所として、施設を抜けた奥にあるみどりの庭は休憩スペースとして使うとよさそうです。駐車場に面した壁面では夜のプログラム（映像上映など）をしたいという意見も。通り抜けできるこざかいの土間に風車を使う、という案も出ました。

PHOTO

ワークショップ当日の様子。手づくりのテーブルを囲み、それぞれのテーマについて話し合いました。その内容をボードにまとめ、代表者が発表しました。

VOICE

今回のワークショップに参加してくださった方の感想です。初めて会う方も多かったですが、皆さんその出会いを楽しんでいただけたようです。

ママたちのパワーはすごい！
一緒に子どもたちのことを
考えられて楽しかった

20代～80代まで
世代を越えた話が
できてよかった。

将来の夢を語るのが
素敵なことだと改めて感じた。
今も先も笑顔が続く施設が
小坂井にできてほしい。

様々な年齢の方が交流でき、
どんな方でも来やすい空間が
つくれるといいと思った。

地域に住む方の活気と
エネルギーを感じ
こんなにも意欲が溢れている
とは思わなかった

あっという間の時間だった
月に1回あってもよいぐらい

支所が新しくなることが
あまり知られていないので
もっと多くの人に知らせてほしい

市民が主役の施設に
なってもらいたい

ひとつの公共施設をつくるために
こんなにも話し合いをし
自分たちにも意見を聞いてもらえ
参加してよかった

「市民の意見」を
直に聞くことができ
とても参考になった
こういう場は大切だと実感した

自分だけでは考えつかない
ことが聞けてよかった
もっと多くの人の意見があれば
もっと素敵な場所になると思った

旧資料室と資料を
気にかけてくれている方が
多くいたのが嬉しかった

次回のご案内

2018年5月～6月頃

次回は「魅力を伝えよう」というテーマで話し合います。施設の魅力を伝えるための発信方法を一緒に考えましょう！